



2022年2月28日

株式会社立花商店 生田 渉

## (新) 週刊カカオニュース第61号

毎度お世話になります。カカオトレーダーの生田と申します。

今週のカカオニュースを配信させていただきます。

### 1. コートジボワール、カカオ豆のトレースプログラムを開始 (2/23)

コートジボワールは4月からカカオ豆の追跡プログラムを開始する予定だ。世界生産数量トップの生産国が、チョコレート原料の供給の持続可能性を証明するよう、高まる外部からの圧力に直面しているからだ。カカオのほとんどは小規模農家で栽培されており、コートジボワールと隣国のガーナが世界の生産量の約70%を占めている。森林伐採や児童労働などの問題が指摘される中、消費者の意識は高まっている。

この業界では、すでにトレーシング・プログラムを導入している企業や独立組織もあるが、最大の生産国であるコートジボワールに対しては、より一層の努力を求める声が高まっている。同国のカカオの約3分の2を購入しているEUは、EU圏内で販売される製品が森林破壊を引き起こす危険性を排除することを目的とした法律の導入に向けて準備を進めている。また、児童労働の使用や農家の収入向上にも関心を寄せている。

コートジボワールのカカオ規制当局である Le Conseil du Cafe-Cacao は今週、カカオ業界の企業に対してこの計画を発表し、4月1日から追跡プログラムの試験段階を開始する予定。発表によると、これは昨年行われた農家への調査に続くもので、農園から港まで豆の追跡が可能になるという。

パイロット・フェーズに参加する農家の数や期間についての詳細は明らかにされていないが、プログラムが本格的に展開される際には、国内のすべてのカカオ生産者が参加する必要があるとのことだ。

「企業は既存のトレーサビリティプログラムを利用することはできますが、義務である国のシステムも追加する必要があります」と規制当局のイヴ・コネ常務理事は述べています。

計画されているトレーサビリティプログラムの詳細としては、まず農家やサプライチェーンの関係者は、すべて登録番号で識別されます。また、カカオの袋には生産者ごとのマークが付けられ、モニタリングが可能になる。そして、農家はデジタル決済カードで支払いを受けるが、このカードには農園の位置などの情報も保存される予定。

### 2. ロシア危機がヨーロッパのチョコレート市場に与える影響は限定的と予測 (2/23)

ウクライナへの攻撃は、モンデリーズと国内の大手製菓会社が市場をリードし、リンツとバリーカレボーがパンデミック前に2桁の利益を記録していたロシア市場でのチョコレート販売を当面妨げるかもしれないが、現地生産は欧州メーカーにとっては代替可能な範囲でありサプライチェーンには大きな問題がなく機能する可能性が高い。

しかし、一方では、急激なインフレによる収入減で消費者心理が悪化する可能性もあるし、治安の悪化で観光客の足が長期にわたり遠くの可能性もある。後者は、チョコレートの消費の回復を遅らせる可能性があり、トラベル小売が Covid-19 の制限による落ち込みから本当の意味で回復できるかどうかにかかっている。

調査によると、ロシアはバリーカレボーグループの売上の5%を占めており、リンツの売上は、最近の出店にもかかわらず、売上高では僅か1%がロシアに由来している。詳細は下記資料の通り。



### 3. カカオ市場の供給不足は拡大し、価格は上昇するとの見方 (2/25)

ニューヨーク-世界のココア市場は2022年9月に終わる今シーズンに供給不足の拡大を記録すると予想され、その結果、今後価格が上昇すると見られると、ロイターが8人のアナリストとブローカーを対象に行った世論調査によると、発表された。。

2021/22年の世界のカカオ供給バランスの予想の中央値は、9月の前回世論調査で見られた12万5000トンの不足に対し、最新のデータでは15万トンの不足となった。その結果、ニューヨーク・ココア先物は火曜日の終値を**5.4%上回るトン当たり2,800ドルで2022年を終える**と見られている。また、ロンドン・ココア先物は1トンあたり**1,875ポンドで、火曜日の終値より8.7%高く2022年を終える**と見られています。

世論調査参加者は、世界第2位の生産国であるガーナの生産量が減少し、ほとんどの国がコロナウイルスのパンデミックの最悪期を脱し、需要が高まる可能性があるとしています。

「強いハルマッタン状態が例年より長く続き、西アフリカの作付け半ばの数字に影響を及ぼしている。2021/22年のガーナの顕著な生産減」と、アナリストの一人は今後のカカオ市場に影響を与える主な要因について言及した。ハルマッタン（サハラ砂漠からアフリカ西部に向かって吹き付ける乾燥した強風の気候的発生）は最近激しく、樹冠に悪影響を及ぼしている。

世論調査では、2020/21年産の最終的な収穫量は100万トンを超えるだろうと予想されているガーナの今シーズンの作柄予想の中央値は9月の77万5000トンから、今回75万トンに下がり、カカオ生産量トップのコートジボワールの生産量は昨年同様で220万トンの豊作で安定すると見られている。

米国のブローカーは「コートジボワールとガーナを合わせた収穫量は、現在の面積と収量を考慮すると既に最大に近いと、今後カカオの需給の赤字は構造化する可能性が高い」と述べた。

また、世論調査参加者は、コンテナの稼働率の低下や船腹予約の困難さなど、海運の困難さが引き続き市場に影響を与え、カカオの貿易に関連するコストが上がり全体の価格を押し上げていると述べた。

#### 4. コートジボワールのカカオ農家が、収穫の半ばを前にして乾燥に悩まされる (2/22)

コートジボワールのカカオ産地では、平均以下の降雨が先週まで続き、農家は、4月に始まるミッドクロープを後押しするために強い雨が必要であると述べた。世界一のカカオ生産国であるコートジボワールの乾季は、11月中旬から3月まで。この数ヶ月は通常雨が少ないが、最近は特に乾燥しています。中西部のダロアや中部のボンゴウアヌ、ヤムスクロなど、雨の少ない地域では、農家から心配の声が上がっている。



「どんどん暑くなっている」ボンゴアヌーの近くで農業を営むジュール・アトプカ氏は、「早く良い雨が降らないと、ミッドクロープの収穫が遅れてしまうだろう」と語った。カカオ生産者組合はロイターの取材に対し、過去2週間、豆の購入はアビジャン港での出荷の進みと同様に遅かったと語った。

東部のアベンゲールでは先週8.2ミリの雨が降り、5年平均より0.9ミリ少なく、南部のアグボビルでは先週6.4ミリ降り、5年平均より2.8ミリ少なかったが、農家はこの降雨の湿気でたくさんの花や蕾の乾燥が防げると述べています。先週は雨が降らなかった西部地域のソブレの農家も同じことを言った。

ボンゴアヌーでは先週2.9mmが降り、平均より4.9mm少なかった。

コートジボワールの先週の日中の平均気温は27.7℃から32.1℃の範囲であった。

#### 5. アフリカのココア：コートジボワール、ガーナの作物はようやく雨に恵まれた (2/21)

世界最大のカカオ豆生産国であるコートジボワールとガーナで、迫るカカオのミッドクロープの見通しが今週の雨によってやや改善されつつある。

コートジボワール南東部アクーペの農家によると、雨は作物に恩恵をもたらし、木には新しい花が咲いているが、収穫量がどれくらいになるかはまだ分からないという。収穫は3月末頃から始まるが、今年は特にガーナで、埃っぽいハルマタン風の影響で乾燥が懸念されていた。

ガーナ南西部Apujaの農家Francis Agyabeng氏は、先週降った雨は「作物にとって喜ばしいことだ」と語った。

生産量第2位のガーナでは最近の乾燥によりカカオのさやが枯れ、昨年の豊作を再現するという期待が薄れている地域もある。速報値では、10月1日のシーズン開始から2月3日までの国内の生産量は約40万8000

トンで、前年比約 40%減であったと関係者は述べている。業界の規制当局は、この数字は正確ではないとしながらも、推定値の提示は避けた。

### その他の生産国のカカオ生産者

ハルマタン風の影響で、西アフリカの他の地域でも乾燥が進んでいる。ナイジェリアでは、イコム近郊の農家、エガク・オクン氏は、作物の生育に支障をきたしているという。カメルーンの生産者は、すぐに雨が降ることを望んでいます。

カメルーン中央州の都市ルキエの生産者は「カカオ生産者の期待は依然として高く、特に新しい農園を持つ生産者は最初の雨を迎える準備を強めています」と語った。

## 6. ナイジェリアのココア産業は燃料不足に悩まされている (2/25)

ナイジェリアでカカオの輸送と取引は、2週目に入ったガソリン不足によって妨げられていると、業界関係者と取引業者は木曜日に述べた。

イバダンのトレーダーは「過去2週間で悪化したガソリン不足のため、カカオを農場から仲買人や輸出業者、グレーディングセンターの倉庫に輸送することが非常に困難になっている」と述べた。カカオ豆を市や町の店や倉庫、または倉庫からカカオ豆の格付けセンターへ運ぶ軽トラックは、今は燃料が手に入らず走れないと彼は言いました。

ガソリン不足は南東部と南西部のカカオの取引に大きな影響を及ぼしている。南西部のオグン、オヨ、オスン、オンド、エキチの5州は、ナイジェリアの年間カカオ生産量 25 万~28 万トンの 70%を占めている。アクワイクボム州では、現在の品不足によりガソリンが 1 リットル 200NGN で販売されていると、州都ウヨのトレーダーは述べています。同国のガソリンの正式価格は 1 リットル 165NGN (=ナイジェリアナイラ) で約 46 円。

オスン州とクロスリバー州でカカオのビジネスを営む商人は、カカオをラゴスの港に運ぶ大型接続トラックが使用するディーゼルのコストは、1 リットル 360 NGN から 430 NGN (約 120 円) に上昇したと述べています。「これはカカオの輸送コストを押し上げる」と述べました。

ナイジェリア石油公社によると、メタノール含有量の多い輸入ガソリンの撤退後、不足が始まり、ガソリン充填所に長い行列ができていているという。

南西部のいくつかのスタンドでは、品薄のため 1 リットルのガソリンを 200-300NGN で販売していると、トレーダーは述べています。

カカオの輸出業者によると、ラゴスの港は通常通り操業しており、カカオの出荷に影響は出ていないとのこと。しかし、燃料不足が続けば、南西部の農場やグレーディングセンターからラゴスへのカカオの輸送が困難になり、輸出が減少する可能性があるというトレーダーは述べた。

イバダンでは、ガソリンの状況は以前より悪化しており、あるトレーダーは「この5日間で約 10 トンのカカオをグレーディングセンターに運ぶことができず、ガソリンスタンドには長い列ができ、十分な燃料が供給されていない」と付け加えた。

## 7. ガンチョングループ、21 年度の純利益は 1 億 5600 万リンギットに減少 (2/21)

ガンチョン・チョン Bhd の 2021 年 12 月期の純利益は、前年の 2 億 2271 万 RM (=約 61 億円) から 1 億 5598 万 RM (約 43 億円) に減少した。

しかし、売り上げは以前の 36 億 8000 万 RM (=1012 億円) から 39 億 2000 万 RM (1078 億円) に増加したと、本日 Bursa Malaysia に提出した証券取引所の書類で述べた。

第 4 四半期、Guan Chong は昨年の 4679 万 RM から増加した 5124 万 RM (=14 億円) の純利益を記録し、売り上げは、主にココア製品の販売量の増加により 10 億 2000 万 RM から 10 億 9000 万 RM に 6.36%増加した。

同社は、普通株式1株あたり2セントの非課税最終配当を提案しており、同社の今後の長期的な展望とココアおよびチョコレートの需要の将来性に自信を持っています。

「同グループは、幅広いカカオ原料や工業用チョコレートについて、特にヨーロッパ地域における新規市場の開拓と、市況に応じた生産の最適化に引き続き重点を置くとしている。

## 8. ナイジェリア、1月のココア輸出量が前年比8%減に (2/25)

ナイジェリアの商業ハブであるラゴスの港湾検査機関や船会社のデータによると、ナイジェリアからのカカオ豆の輸出は1月に前年同期の5万122トンから4万6142トンに減少した。また、1月の輸出量は前月12月に比べて66%減少した。

ナイジェリア・ココア協会のムフタウ・アボラリンワ会長は電話で、「地元のココア業者が国際市場よりも高い価格を要求しているため、販売が振るわず輸出が減少した」と述べた。

1月出荷分の約79%が、オランダ、ドイツ、ベルギーを中心としたヨーロッパ向けだった。ナイジェリアは月間で337トンのココアバターを輸出し、前年比47%減となった。

## 9. ドミニカ共和国産カカオのサプライヤーがシード資金を確保 (2/25)

ドミニカ共和国 - ドミニカ共和国のアメリカ人姉妹 Janett と Erika Liriano によって設立された Inaru は、カカオのサプライチェーンを再構築しています。この新興企業は、ドミニカ共和国で有機カカオを生産する垂直統合型のエコシステムを構築するため、テクノロジー、ベンチャー、インパクトファンドから150万ドルのシードキャピタルを調達しました。

Inaru は、利益分配を通じて生産者に力を与え、ドミニカ共和国のカカオ生産能力を制限してきた時代遅れの農法を見直す、包括的なビジネスモデルを確立したと創業者は述べています。同社は、300以上の農家に有機認証を提供し、さらに1,800の待機者を抱えており、500トンのカカオの独占契約を獲得しています。Inaru は、今回の資金調達により、今年中に倉庫の建設とカカオ精製装置の設置を完了し、半製品と最終製品をすべて輸出市場向けに生産する計画だという。

「Inaru は、農家が支払うべきものを支払われていることを疑う余地なく証明することができます」と、最高経営責任者のジャネット・リリアーノは述べています。

将来的には、Inaru の創業者たちは、このモデルをコーヒー産業にも応用し、「コモディティを本質的な基礎商品として捉え直す」ことに興味を持っているという。

投資家には、The Helm、1517 Fund、MarsBio VC、West Ventures、Gaingels、Sorenson Impact Foundation などのベンチャーキャピタル、The Hershey Co.、Soylent などの食品製造業やUnity Technologies、Robolox などゲームやコンピューター関連の異業種を含む企業が名を連ねています。

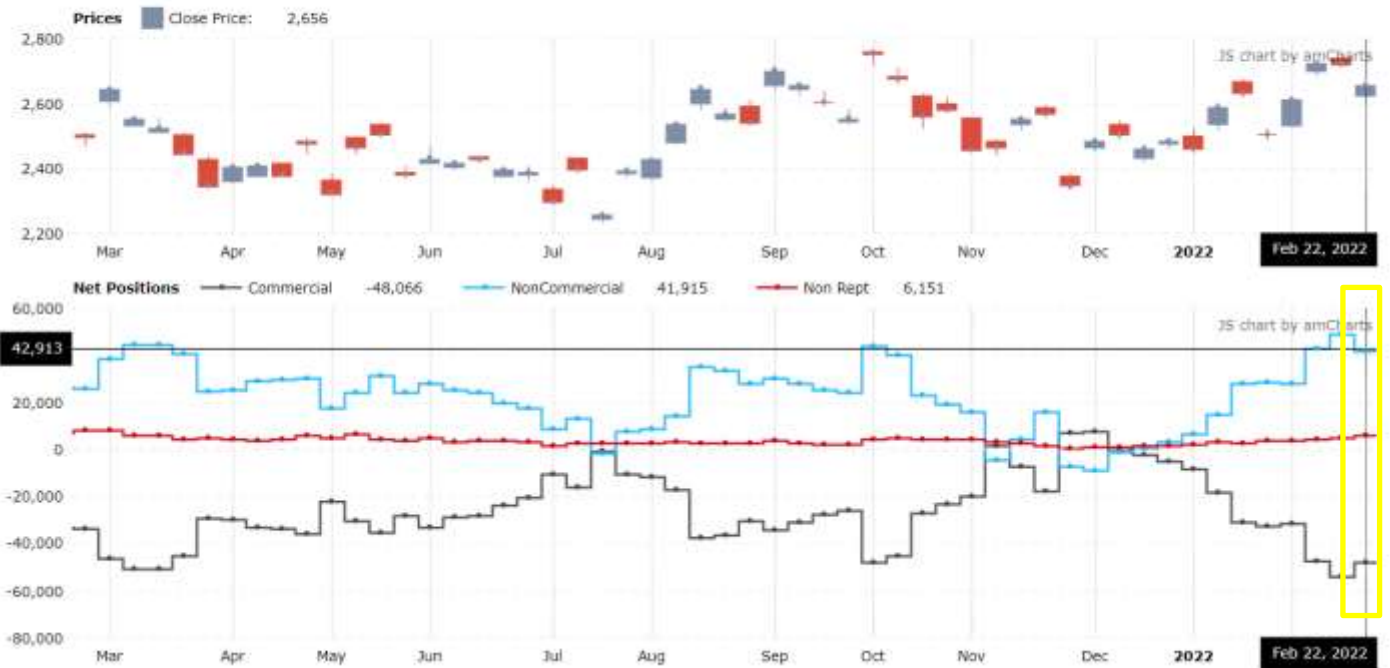
## 10. ファンダ勢のNY先物は純買い越しポジションが減少 - 3週ぶりの低水準 (2/26)

ニューヨークのカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを8,398ロット減らし、33,856ロットとした。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、2月22日)の取引が含まれている。

- 純買いポジション (Net-long position) は3週間ぶりの低水準
- 総買い数量は **4,142 ロット減少** (先週は **8,609 ロットの増加**) し、**65,187 ロット**。
- 総売り数量は先週より 4,256 ロット増加 (先週は 613 ロットの増加) し、31,331 ロットとなった。j

## 参考分析資料；過去1年のNY市場の実需家VS投機筋のポジションと相場価格

### Prices & Net Positions



### 11. 投機筋、ロンドン先物は純買い越しポジションが減少 (2/26)

ロンドンカカオ先物市場において、ヘッジファンド等投機筋 (Managed Money) は今週、純買い越しポジションを 10,021 ロット減らして (先週は **10,028 ロットの増加**)、33,306 ロットとなったことが、ICE 欧州先物取引所の発表しているデータから判明した。毎週発表されるこのポジションレポートの取引数字は毎週火曜日まで、(今週で言えば、2月22日)の取引が含まれている。

- 純買いポジションの総量は過去16週間で最も強気水準
- 買いポジションの総量は2月22日までで、前週より 5,176 減少し (先週は 8,383 ロット増加) し、35,749 ロットとなった。
- 売りポジションの総量は2月22日までで、前週より 4,845 ロット増加 (先週は 1,645 ロット減少) し、12,464 ロットとなり、売りポジションだけの総量では過去3週間で一番多い数字。

参考資料) LDN 市場の全プレイヤーのポジション一覧の分析

Commitments of Traders

Futures only

ICE Futures Europe

22/02/2022

MktDate	OI	Producer/Merchant/ Processor/User		Swap Dealers			Managed Money		
		Long	Short	Long	Short	Spreading	Long	Short	Spreading
22/02/2022	284664	164265	202921	27390	24952	18260	33615	13093	16192
<b>Percent of Open Interest Represented by each Category of Trader</b>									
22/02/2022	100%	57.7%	71.3%	9.6%	8.8%	6.4%	11.8%	4.6%	5.7%
<b>Number of Traders in Each Category</b>									
22/02/2022	147	51	44	13	8	10	23	24	17

12. 新商品紹介：チョコレートドリンク専門店「Hanikam Chocola Tea」 3/13(日)福岡に OPEN

ミツバチプロダクツ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：浦はつみ）は、20種を超える多様なチョコレートドリンクを提供する専門店「Hanikam Chocola Tea」を、3月13日、福岡市内にオープンする。



ミルクや紅茶などさまざまな素材と組み合わせたチョコレートドリンクをメインで提供する事例は、日本にはあまりなく先駆的な試みだ。

店舗では、ベースとなるチョコレート(3種類)と飲み物(4種類)を選び自分好みにカスタマイズできるスタンダードメニューをはじめ、チョコティー(ミルクチョコ+アールグレイ紅茶)、ジャンドゥーヤショコラ(ヘ

ーゼルナッツチョコ+ミルク) などのおすすめメニューや、有名パティシエやお客様と一緒に作り上げる特別メニューなども販売される。ドリンク類がすべてテイクアウトできるのも安心だ。



また、「Hanikam Chocola Tea」のチョコレートドリンクは、全てミツバチプロダクツの業務用チョコレートドリンクマシン INFINI MIX を使用している。INFINI MIX は高温スチームで溶かしたチョコレートを、内蔵された攪拌羽根とブレンダー孔が短時間でリキッドと混ぜ合わせ、非常に滑らかなチョコレートドリンクに仕上げることができる機械だ。注文を受けてから作る「一杯仕立て」のため、作り立てを楽しむことができる。



\*説明および写真は下記プレスリリースより

<https://www.oricon.co.jp/pressrelease/1114839/>

週刊カカオニュースの配信の削除、ご依頼については、下記アドレスまでご連絡願います。

株式会社 立花商店 生田 [w-ikuta@tachibana-grp.co.jp](mailto:w-ikuta@tachibana-grp.co.jp)

\*本ニュースの相場情報は、客観的なデータの報告及び、著者の主観的な意見を述べるものであり、一切の取引の推奨を目的としたものではございません。カカオ先物、及び現物の取引におかれましては各個人様、法人様のご判断に基づいて行って頂きますようお願い致します。